



桐

K

I

R

I

平成17年度同窓会 総会および懇親会のご案内

本年度の総会・懇親会を、3年ぶりに右記のとおり開催いたします。

本年も、これまで同様ご出席いただいた会員の皆様にご満足いただけるよう、盛大、且つ楽しい懇親会を開催すべく、役員一同で万全の準備をいたしております。

本年の変更点は、従来、一部・二部形式で開催してきた総会・懇親会方式を改め、総会は主催者、来賓挨拶と役員紹介に止め懇親会をメインとし、これまでの立食パーティから着席スタイルとしたことです。

会員の皆様におかれてましては、クラスメイト、先輩、後輩へと共々に幅広くお声を掛け合って、多数ご参加ください。

なお、当日は、ご同伴でのご出席も大歓迎いたしますので、既婚者の方は奥様と、独身者の方は恋人、ガールフレンドと一緒にご参加ください。多数の会員のご出席を、心からお待ちしております。

記

○日 時 平成17年7月16日（土）
午後5時30分から

○場 所 新宿ワシントンホテルビル内宴会場、
「ウエストシティホール&ウエディングアイ」
本館3階「すばる」
(新宿駅南口改札口より都庁方面 徒歩10分)

○会 費 平成14年～17年3月卒 2,000円
平成5年3月卒～平成13年3月卒 5,000円
平成4年3月卒以前 7,000円

※同伴出席者の女性分会費は、本人会費の半額とさせていただきます。

○内 容 酒・料理・美人コンパニオンの用意有り
アトラクション

表彰（親子二代卒業生）
ショータイム（当日のお楽しみ）
ビンゴゲーム（景品を多数用意）



平成16年度会務報告



同窓会会長

安 達 富 夫

(昭和43年 3月卒)

昨年、会報をご送付してからこの1年間を振り返ってみますと、平成16年は、国内においては8回にもわたる台風、豪雨による自然災害の発生と、10月23日には新潟県中越地方で震度6強の地震が発生、また、海外でも12月26日に発生したインドネシア・スマトラ沖での大規模地震、そして本年に入っても3月20日に発生した福岡県西方沖地震、4月25日にはJR福知山線の尼崎、列車脱線事故と天災、人災を含め本当に災害の多いこの1年間でありました。本会会員諸兄並びにその関係者の方々にこれらの災害に遭われた方がおられましたら、心からお見舞いを申し上げます。

まず、本誌を通してこの1年間の経過報告等をさせていただきます。

母校の行事につきましては、例年同様、卒業式、梧林祭等に同窓会から代表が出席して、卒業生、在校生に対する激励を行ってまいりました。

次に、本会の会員数について申し上げますと、去る3月9日の卒業証書授与式を以て、新たに230名の新会員を迎え、会員総数では28,960名を数えるにいたりました。このうち、本年の親子2代に亘る卒業生は、2組4名でありました。(8頁記載)

また、同窓会賛助会費の納入については、本年も多数の会員からのご賛同と深いご理解をいただき、平成16年度は7頁にご芳名記載のとおり202名の方々に納入をいただきました。ここに、謹んでお礼を申し上げます。この賛助会費は、すでに本誌にてもご案内させていただいたとおり、平成14年度より納入対象者、納入金額ともに見直しをさせていただき、一口1,000円で全会員を対象としてご協力を仰ぐことにしました。平成16年度は、202名中新規協力者が59名(約29%)となり、さらに、70名(約35%)の方々が5,000円以上の大口協力者でありました。重ねて厚くお礼を申し上げます。

なお、本年も、本誌の発送とともにすべての会員に、賛助会費(同窓生年会費)の払込通知票を同封させていただきましたので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。また、口数は任意ですので、お志のある方は、是非、複数口のご協力を重ねてお願い申し上げます。

次に、本会における個人情報の取り扱いについて申し上げます。ご承知のように本年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が全面施行されました。この法律の目的は、情報通信技術の発展によって電子化された情報が大量に生成・流通している今日の高度情報化社会において、個人情報を保護し個人の権利利益を守ろうとするものです。本会における個人情報の取り扱いに関する考え方は、8頁に記載いたしましたのでご参照ください。

なお、今後、本会宛てにクラス会や同期会開催等のため、

会員情報の提供を希望される場合は、①使用目的、②提供希望の情報項目、③申し出者の本人確認が出来る書類(運転免許証・保険証等の写し)が必要となりますのでご了承ください。

次に、昨年学校側からご依頼があり、経済的事情で就学の継続が困難な生徒が発生した場合、授業料を免除する制度を新設し、学業継続に向けた救済の手を差し伸べたい。については、その財源の一部を同窓会からの寄付という形で、ご支援がいただけないかとの、ご相談がありました。本会では、3度にわたる役員会で慎重審議を重ねた結果、同窓会費は在学中に納入していただいているものの、通常、納入した会費に対する反対給付は卒業後であることを勘案すると、同窓会として在校生に対する本会事業も必要であるとの結論を得ました。

そこで、本会の財政状況等を勘案し、平成18年度から原則、年間2名を上限として、経済的事情による授業料免除対象者が発生した場合、本会として授業料相当額の一部を学校へ寄付することを決定いたしました。

さて、本年は、本誌1面にてご案内のとおり、来る7月16日(土)に新宿のワシントンホテルビル内宴会場「ウエストシティホール&ウエディングアイ」において、平成17年度の同窓会総会・懇親会を盛大に開催する予定です。会員諸兄におかれは、友人とお誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

おわりに、今後もなお一層、同窓会に対するご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。会員諸兄の益々のご健康とご繁栄を祈念申し上げて、会務報告とご挨拶といたします。



Toho Industries & Co., Ltd.

東邦工業株式会社

●業務内容：熱硬化性プラスチック用インサートナット
熱可塑性プラスチック用インサートナット
携帯電話対応インサートナット
ステンレス精密シャフト

●使用機械：スイス型自動旋盤、NC複合加工自動旋盤
NC自動旋盤
ISO 9001.14001 認証取得

代表取締役 **土方 国任** (31年 3月卒)
Hijikata Kunitaka

本社工場
東京都目黒区下目黒2-12-3
TEL03-3490-1311(代)
FAX03-3490-3848

大岡山工場
東京都目黒区大岡山1-6-10
TEL03-3717-3153
FAX03-3717-6790



ご挨拶と学校の動向



理事長・校長

関 口 隆 司

平成16年度は、平成15年度中に見直しを検討した年間行事・カリキュラム・校務につきまして、新体制での活動を実施したほか、引き続き目黒学院中学校・高等学校の改革について検討を続け、平成17年度以降に更に実り多い成果をあげるために、諸制度の変更・整備を行いました。これに伴い、本年4月から以下の通り活動を実施しております。

1. 学則の変更

従来から学校での学習活動が種々の行事で寸断されないように、年間行事の実施時期を変更するなど、生徒が落ち着いて学習できるよう配慮してまいりましたが、更にその考えを押し進めて、中学校・高等学校とも学期等に関する学則を大幅に変更いたしました。本年度から、2期制は維持しつつ、前期を8月31日までとし、後期は9月1日から始まります。従来10月上旬に実施しておりました修学旅行が9月上旬に、11月上旬に実施しておりました学園祭が10月上旬に、それぞれ時期を早めて実施されることとなります。本年度の梧林祭は、10月8日（土）・9日（日・創立記念日）に行う予定です。また、休業日につきましても、3年制の生徒にだけ存在していた第2土曜休業日を廃止して、中高一貫生と同様に完全学校6日制とする一方、4月29日から5月5日までのいわゆるゴールデンウィークはすべて全校休業日とする等の変更を施しました。

2. 教職員の勤務形態の変更

就業規則の改訂が40年振りに教職員の大多数の賛成を得て行われ、本年度から実施されております。教職員は週休2日制の勤務となり、火曜日から金曜日までの間に1日休日が設定されております。クラス担任が休日に当たる日は、学年付きの教員が担任となります。一方で、出勤日の勤務時間が延長され、職員会議は月曜日の放課後に、保護者会等の行事はなるべく土曜日の午後に行うこととなりました。

以上のような、かつてない生徒及び教職員の活動状況の変化には様々な困難やときには混乱が生じることもあるでしょうが、必ずや生徒及び保護者に対するご負託にこたえ、一層の教育効果の向上に結びつくものと信じております。どうぞ引き続き同窓生の皆様の忌憚のないご意見を賜りたく存じます。

す。

以下に若干のご報告を申し上げます。

1. 学校行事

平成16年度の日黒学院では、ほぼ予定通り順調に学校行事・教育活動が行われました。

「総合的な学習の時間」の一部として、総合進学コースの2年生には小論文指導を授業で行っております。また、新入生のオリエンテーションが入学式の翌日から実施されたのに伴い、在校生の校外授業も同じ時期に実施され、2年生は「目黒学院の森作り」（植樹活動）に取り組みました。また、校内球技大会を復活させるべく、本年3月には3年制高校1年生と2年生によるバスケットボール大会（教員も参加）を実施いたしました。

2. 教職員の異動

田部勝也先生（理科）、内田祐介先生（理科助手）が退職されました。一方、斉藤真彦先生（数学）を専任教諭としてお迎えした他、従来非常勤であった成田哲先生（地歴）、秋山香織先生（地歴）、今関大輔先生（数学）、藤牧朗先生（理科）、白木恵以子先生（英語）、大場優子先生（養護）を常勤講師としてお迎えいたしました。現在の専任教員数は67名（常勤講師を含む）、専任職員数は6名となっております。

3. 部活動の状況

関東大会以上に出場したのは、相撲部・空手道部・ゴルフ部でした。相撲部はインターハイで決勝トーナメントに進出しました。また、本校の部活動ではありませんが、フィギュアスケートではインターハイ団体2位となっております。

4. 大学進学状況

本校のホームページに本年度の大学進学実績を掲載しております。在校生のほとんどが大学進学希望であり、生徒の志望進路実現のため学力増強に教職員一同真剣に取り組んでいく所存です。勉学であれスポーツであれ、真摯にかつ夢中で取り組み、自分自身の考え方にこだわりを持った「有言実行」型の男子を育成したいと考えております。

5. その他

安達同窓会長からご紹介がございます通り、経済的に就学の継続が困難な生徒の保護者に対して、授業料（年額399,600円）を免除する規定を新設することとなりましたが、これに伴い、免除した授業料の一部を同窓会よりご寄付いただくことをご承認いただきました。実際にご寄附を頂戴しますのは平成18年度からとなりますが、同窓会役員をはじめ同窓生の皆様の深いご理解とご支援に対しまして、あらためて学園を代表して心から御礼を申し上げる次第です。

夏が来れば、思い出す(その3)



前校長

須 藤 亘 啓

『夏が来れば、思い出す』と題して、かつての山岳部にかかわる拙文を連載していただきました。しかし、夏が来て思い出すのは山に限りません。海や湖や川で泳いだことも思い出します。個人的には、外房の鵜原海岸での遠泳が忘れられません。大袈裟に言えば水平線の彼方ハワイを目指して、沖に向けて泳ぎ始めます。もちろん、安全のために小型の和船も同行します。小さな湾内は波静かで300m位沖に出ると海水浴やボートを漕ぐ人も少なくなり、うねりで体が浮き沈みし、うねりの上に浮き上がると、周辺の様子や岸の方の眺めが見

渡せるのですが、うねりの底に沈むと揺り鉢の底にいるように、周りは海水の壁で何も見えません。一時間ほどゆっくり泳ぐと左手に鵜原島が見えてきます。やがて勝浦湾を隔て勝浦灯台が見える辺りで、少しづつ右回りにコースを変え、鵜原湾に戻ります。潮の流れに逆らうと全く進まず停滞しているような状態になりますが、少し角度を変えると湾内に向かう流れに乗り、出発点の浜辺が急に近づきます。そして、膝が砂地に接触する位の浅い所まで泳ぎ続け、ふらつきながら浜辺に立ち、2時間の遠泳を終えます。

ところで、外房海岸で鵜原・勝浦と続く先は御宿です。目黒高等学校三十年史によれば、戦時中の記録と思われますが、御宿の寺に分宿して臨海教室が開かれたとあり、創立50周年記念誌には御宿海岸での写真が掲載されています。目黒高等学校時代、三浦半島津久井浜、房総半島勝山、伊豆半島土肥などで臨海教室・臨海学校が行われた歴史がありました。カメラは湿気や塩っ気を嫌うので、山での写真ほど撮っていないのですが、御宿海岸での写真くらいの価値がある、と思われる写真がありました。昭和27年（1952年）8月、三浦半島津久井浜の臨海学校で、関口敏郎校長先生を中心にした記念写真です。校長先生の水着がとても似合っていました。

（後列の右端は中西先生、前列の左から5人目は新木先生、前列の右から4人目は須藤です。）



【写真1】 三浦半島津久井浜・臨海学校

湖で泳いだこともあります。丁度、50年前、昭和30年（1955年）8月、芦ノ湖畔でキャンプした時の写真がありました。ボートを漕ぐ関口敏郎校長先生（背中は横野先生）です。



【写真2】 ボートを漕ぐ関口敏郎校長先生

湖岸での写真には、禪姿の校長先生の雄姿があり、芦ノ湖でボートを追って泳ぐ私と事務の山岸君の写真もありました。もう一枚、大切にしている写真があります。結構スリムだった若き日の私の写真で、25歳の誕生日の記念にと、湖畔で関口敏郎校長先生が撮って下さったものです。



【写真3】 50年前の私

私が泳ぎを覚えたのは、小学校から中学校の頃、昭和12年から23年の頃です。戦時中で中学校で習ったのは、日本泳法の平泳ぎ・抜き手・伸し（のし）、浮き身でした。速く泳ぐよりも、長時間、音を立てずに静かに泳ぐこと、出来るだけ長く水に浮いていることを目標にして、泳がされたものでした。学校で借りた近くの紡績工場のプールは井戸水で、冷たい水の中での水泳は大変でした。体操の時間に泳法を習い、仕上げにプールの縁に沿って泳ぎ続けたことが、懐かしく思い出されます。

都内の川でもよく泳ぎました。江戸川の河原にあった学校農園で薩摩芋作りの畑仕事で使った鍬を洗いに川に入り、川の中央部の都県境まで泳ぎ、江戸川の水は水道水になるからとがぶ飲みしました。戦災で浅草から葛飾に移っていたので、家から1・2分の中川まで駆け足で行き、狭い川なので川の真ん中で泳ぎ回りました。荒川では、下流で練武館という水練場、上流の秩父では急流の中を泳ぎました。多摩川は二子玉川辺の多摩川で泳いだ記憶があります。隅田川は都内を流れる大きな川の中で、泳いだことのない唯一の川です。昭和20年（1945年）8月に戦争が終わると、工場排水の排出が激減したためでしょうか、通学していた学校の裏を流れる隅田川もきれいになり、近所の子供達が泳いでいるのを見かけ、泳ぎたいと思いましたが、どうしても川に入る気になれません。東京大空襲の夜、隅田川に架かる白鬚橋のたもとで一夜を明かし、命永らえたことを思い出すと、とても、泳ぐ気にはなれなかったのです。なお、小さな川では、荒川の隣を流れる綾瀬川でも泳ぎましたが、残念ながら目黒川では泳いでおりません。

健康維持のために区営の温水プールで、週2・3回、のんびり泳いでいます。休憩から休憩までの50分間、プールの底に足を触れず休まず、プール遠泳と考えて泳ぎ続けます。これからも、無理をせず、マイペースで「山歩き」と「プール遠泳」を続けようと思っています。

平成16年度決算報告書

平成16年4月 1日から
平成17年3月31日まで

(収入の部)		(単位：円)	
科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
同 窓 会 費	1,758,200	1,758,200	732名分
入 会 金	472,000	472,000	236名分
賛 助 会 費	700,000	685,060	202名分
総 会 会 費	0	0	
寄 付 金	0	0	
雑 収 入	81,700	81,212	会報掲載広告代及び預金利息
当 期 収 入 合 計	3,011,900	2,996,472	
前 年 度 繰 越 金	1,994,579	1,994,579	
収 入 合 計	5,006,479	4,991,051	

(収出の部)		(単位：円)	
科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
総 会 費	1,533,000	1,403,855	
行 事 費	0	0	
通 信 費	1,360,000	1,247,920	会報発送郵便料
印 刷 費	170,000	155,515	賛助会費振込用紙
雑 費	3,000	420	
会 議 費	105,000	56,697	
役 員 会 費	95,000	52,287	出席者食事代
委 員 会 費	0	0	
通 信 費	7,000	4,410	開催通知郵便料
雑 費	3,000	0	
補 助 費	480,000	310,000	
部・同好会補助	450,000	280,000	在校生部活動補助
文 化 祭 補 助	30,000	30,000	梧林祭の祝金
事 務 費	591,000	408,918	
人 件 費	370,000	267,421	会報発送手間代・役員手当等
事務消耗品費	125,000	98,887	会報発送用封筒代
交 際 費	90,000	41,865	慶弔費
交 通 費	3,000	0	
雑 費	3,000	745	
名 簿 費	456,000	412,020	
機 関 紙	221,000	204,750	15,750部作成
卒 業 生 名 簿	235,000	207,270	平成17年3月卒業生分420部
予 備 費	100,000	0	
当 期 支 出 合 計	3,265,000	2,591,490	
次 年 度 繰 越 金	1,741,479	2,399,561	
支 出 合 計	5,006,479	4,991,051	

〔特別積立金〕		(単位：円)	
保 管 種 別	本 年 度 末	前 年 度 末	
定 期 預 金	7,000,000	7,000,000	

〔会計監査報告〕

私たちは、平成16年 4月 1日から平成17年 3月31日までの平成16年度における会計監査を行い、次のとおり報告する。
会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて監査を行った結果、公正かつ相違ないことを認めます。

平成17年 4月20日

会計監査 藤 田 貞 男
会計監査 市 川 康 憲

平成17年度予算書

平成17年4月 1日から
平成18年3月31日まで

(収入の部)		(単位：円)	
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
同 窓 会 費	1,568,600	1,758,200	△ 189,600
入 会 金	432,000	472,000	△ 40,000
賛 助 会 費	700,000	700,000	0
総 会 会 費	300,000	0	300,000
寄 付 金	150,000	0	150,000
雑 収 入	81,700	81,700	0
当 期 収 入 合 計	3,232,300	3,011,900	220,400
前 年 度 繰 越 金	2,399,561	1,994,579	404,982
収 入 合 計	5,631,861	5,006,479	625,382

(収出の部)		(単位：円)	
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
総 会 費	3,190,000	1,533,000	1,657,000
行 事 費	1,490,000	0	1,490,000
通 信 費	1,460,000	1,360,000	100,000
印 刷 費	230,000	170,000	60,000
雑 費	10,000	3,000	7,000
会 議 費	162,000	105,000	57,000
役 員 会 費	105,000	95,000	10,000
委 員 会 費	45,000	0	45,000
通 信 費	10,000	7,000	3,000
雑 費	2,000	3,000	△ 1,000
補 助 費	380,000	480,000	△ 100,000
部・同好会補助	350,000	450,000	△ 100,000
文 化 祭 補 助	30,000	30,000	0
事 務 費	580,000	591,000	△ 11,000
人 件 費	370,000	370,000	0
事務消耗品費	125,000	125,000	0
交 際 費	80,000	90,000	△ 10,000
交 通 費	3,000	3,000	0
雑 費	2,000	3,000	△ 1,000
名 簿 費	432,500	456,000	△ 23,500
機 関 紙	221,000	221,000	0
卒 業 生 名 簿	211,500	235,000	△ 23,500
予 備 費	100,000	100,000	0
当 期 支 出 合 計	4,844,500	3,265,000	1,579,500
次 年 度 繰 越 金	787,361	1,741,479	△ 954,118
支 出 合 計	5,631,861	5,006,479	625,382

平成16年度決算報告について

当初予算においては、単年度収支で25万円の支出超過を予定して開始されたが、収入はほぼ当初予算どおり、支出は極力経費の節減に努めたことにより、予算に対して67万円の減少となり、予算に対して好転し40万円の収入超過となった。
この結果、次年度への繰越金は239万円となった。
1. 収入の部
同窓会費、入会金、賛助会費、雑収入の全ての収入科目において、ほぼ予算どおりの収受となった。
2. 支出の部
平成17年の総会・懇親会開催に向けて、支出科目全般にわたって節減努力したことにより、予算対比で減少した。

また、本年度は、総会・懇親会の開催年に伴い、総会会費及び寄附金収入について、過年度実績に基づき予算計上した。
2. 支出の部
本年度の事業計画は、①総会・懇親会の開催、②同窓会だより「桐」の発行、③平成18年3月卒業の卒業生名簿の作成、④在校生の部・同好会に対する補助等が主なものである。
例年と異なる点は、総会・懇親会の開催に伴う行事費予算

平成17年度予算について

平成17年度収支予算は、平成17年度の事業計画と平成16年度の収支実績とを勘案して編成した。
1. 収入の部
同窓会費は649名、入会金は215名を、また賛助会費は前年同様700口を収納予定人員と積算し予算計上した。

の計上である。過去2年間、3年ごとの総会・懇親会開催に向けて繰越資金の蓄積を行う一方、平成17年度は総会・懇親会の実施方法の見直しにより、行事費予算は3年前の開催時と比較し、約2分の1の予算計上とした。

この結果、当期収入予算額は前年対比22万円増、当期支出予算額も行事費予算計上により前年対比157万円の増となり、これにより次年度への繰越金は78万円を予定し、単年度収支では161万円の支出超過予算となった。

友愛の60年 …五月会と言う集い…



結 城 重 一

(第一期卒 昭和20年3月卒)

昭和15年、16年に東京機械工学校（乙種）の門をくぐった我々は、幸いにして昭和17年3月に目黒工業学校（甲種）に編入することができた。当時は大東亜戦争の最中で目黒工業の厳しい教育に育てられ、勤労動員として軍事工場に派遣され、昭和20年の3月、卒業期を迎えたが、一部の学友は陸軍に、海軍に、志願兵として入隊中のもの居り、昭和20年3月28日の卒業式で直接卒業證書を手にしたのは110名中の50数名だったと聞く。

その年8月に終戦となり、復員した仲間は、大学へ進むもの、会社に勤めるもの、自営の道に入るもの等、敗戦と言う険しい環境の中での生活が続いた。空襲によって自宅を焼失した人、疎開した人達もだんだんに東京に戻ってきた昭和24年5月頃、連絡のとれた級友達は銀座裏の喫茶店に集まり、旧交を温めるとともに、誰ともなくクラス会をつくり年一回ぐらいは集まろうと言うことになり、その時期は五月頃にしよう

ということから、会の名は「五月会」と呼ぶことになった。早速、翌25年5月、田中・岡本・久我の幹事が上野（御徒町）の割烹店で初の五月会を開き20余名が参加し近況を語り合った。

その後、戦後の混乱期と生計を構築する繁忙のため「五月会」は断続的となったが、居住も生活も安定した昭和35年頃になり、持廻り幹事を決め、東京付近の料亭や近郊の温泉郷で楽しいひと時を過ごし、屋久島で鳥類の研究をしていた中川君の斡旋で楽しい旅行もしたり、東京湾での屋形船での天ぷらに饗する等々、ときの幹事の趣向により楽しい集いが続いた。

その後、会員数も増え本年第60回の集いが行われるがその名簿では、関口敏郎先生、宮田・武田の両先生、会員の中で8名の物故者の方々を除き、会員は30名が登録されている。傘寿を迎え、また迎える年齢となり、体調の関係から欠席者もで、20名前後の集いとなるだろう。

定年を役えた人達、家業を息子達に譲った人々、未だ現役第一線で活躍している仲間と、それぞれの生活を快適に過しているが、年一回の「五月会」を楽しみに60年の歳月が流れた。その太い絆は、これからも更に続く、目黒の卒業生としての喜びと、そして相互に励まし合って今日の「五月会」が続いていることを誇りあるものとして自賛している。

油圧の総合メーカー

YUKEN

油研工業株式会社

(東京証券 第一部上場)

代表取締役会長

結 城 重 一

(第1期卒業)

本社
相模事務所

神奈川県綾瀬市上土棚中4-4-34

TEL (0467) 77-2111

営業本部

東京都港区芝大門1-4-8 清和ビル

TEL (03) 3432-2111

<監査業務>

ロイヤル監査法人

社員代表 公認会計士

宮 川 良 雄

東京事務所 〒152-0003

東京都目黒区碑文谷2丁目7番17号

TEL 03-3716-7666

FAX 03-3712-1365

<財務、税務、登記 企業診断、相続税>

公認会計士、税理士、司法書士、中小企業診断士

宮川良雄事務所 所長 宮川良雄

所在地 Tel・Fax 〒 同上 (第1期卒業)

◆目黒学院高等学校同窓会の 個人情報保護の基本ポリシー◆

本会ではこれまでも個人情報の保護について、細心の注意を払ってきましたが、今後は以下のとおり個人情報保護方針を定め、「個人情報の保護に関する法律」に定められた「個人情報保護管理者」として、本会が保有する個人情報の適切な保護に努めます。

1. 本会が保有する個人情報の内容

氏名、卒業年、学科区分、組、性別、郵便番号、住所、電話番号、勤務先、勤務先電話番号、在学時所属クラブ、委員・役員種別

2. 本会が保有する個人情報の利用目的

本会は、同窓会活動のために目黒学院高等学校及び会員から情報提供を受けます。これらの個人情報は会員に対し本会の目的である同窓生相互の永遠の親睦を図り、母校目黒学院高等学校の発展とその使命達成に寄与するために利用します。

具体的には、上記の目的を達成するために会員の個人情報を基に、会報「桐」の発送、賛助会費の納入依頼、同窓会名簿の編纂、委員会・役員会等の会議の通知、会員への連絡に利用します。

3. 開示・訂正・利用停止請求等について

会員本人からの個人情報の開示・訂正・利用停止等を希望された場合は、遅滞なく合理的な範囲で対応します。

また、本会から会報等を発送した場合、会員本人の都合により今後受け取りを拒否される場合は、必ず本会までご連絡ください。

4. データ管理の預託について

本会では、会員データのメンテナンスを外部専門業者に預託して行っています。本会と外部専門業者とは、契約書を締結し個人情報の保護を徹底させます。

**賛助会費の納入をよろしく
お願いいたします！**

賛助会費：一口1,000円

賛助会費は、一口1,000円で、口数は任意となっております。お志のある方は、複数口のご協力をよろしくお願い申し上げます。また、財政面で安定した本会運営を行っていくために、多数の会員諸兄のご協力をお願い申し上げます。
※納入にあたっては、同封の郵便局用「払込通知票」をご使用のうえ、お振込みください。

★同窓会ホームページのアドレス★

<http://www.meguro.ac.jp/kiri/>

◆恒例「親子二代卒業生」ご紹介◆

大 北 昭 二（父） 昭和55年3月卒
優（子息） 平成17年3月卒

清 水 敏 也（父） 昭和55年3月卒
亮太郎（子息） 平成17年3月卒

平成17年度 同窓会委員会の開催について

平成17年度同窓会委員会を、下記のとおり開催いたします。

各クラスの委員の方は是非、ご出席ください。

特に、平成15年・16年・17年に卒業された、各クラスの正・副委員の皆さんは、初めての委員会ですので欠席のないよう、お願いいたします。

記

- 日 時 平成17年7月9日（土） 午後2時～
- 場 所 目黒学院高等学校内 会議室
- 議 題 ①平成16年度決算報告の件
②平成17年度予算案の件
③役員改選の件
④平成17年度同窓会総会・懇親会開催の件

◆急募！ 同窓会活動に ご協力いただける人材◆

対 象 年齢不問、同窓会の活動に関心のある方。
パソコン、インターネットに興味のある方大歓迎。

連絡先 安 達 富 夫 TEL 090-4063-6580
E-mail : kiri@meguro.ac.jp

●クラス会・同期会の開催状況をお寄せください！

本紙では、紙面の一層の充実を図り、会員にクラス会、同期会の開催状況を広くお知らせするために、投稿をおまちしています。

〔要領〕 開催の模様（開催日時、場所、参加者数等）を、字数1,000字以内にまとめ、写真を添えて投稿者の氏名、住所、電話番号、卒業年を明記して下記にお送りください。

〔宛先〕 〒153-8631 目黒区中目黒1-1-50
目黒学院高等学校同窓会事務局 まて